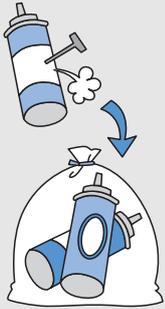




混ぜるな、キケン！スプレー缶

この10年あまり、ごみ収集車両の火災事故が増えています。北区では、平成12年から16年までに平均年11回発生しました。その原因は、ごみとして出された整髪料や殺虫剤などのスプレー缶や卓上用ガスボンベのガスに引火したものと考えられています。車両火災が起こると、周囲の方に危害が及んだり、その後のごみ収集が大幅に遅れたりするなどの影響があります。



このような事故を防ぐために、スプレー缶などは、必ず中身を使い切ってから、穴を開けて、缶が見える別袋に入れて「燃やせないごみ」の日に出してください。



プラスチックごみを分別しよう！

平成12年に施行された容器包装リサイクル法に基づき、プラスチック製の容器包装を分別して収集しています。しかし、家庭ごみのうち正しく「プラスチックごみ」として排出されてい

るのは、約30%にすぎません。まだ半数以上は「燃やせるごみ」などに混入しています。プラスチックごみかどうかを判断するには、識別マークにご注目！

①識別マークを確認しましょう



このマークが付いているものはすべてプラスチックごみです

②識別マークのないプラスチック製品は大きさによって「燃やせないごみ」か「大型ごみ」へ



引っ越しの季節、大型ごみは有料です

一般家庭から出る引っ越しごみなどの一時的な多量ごみを一度に処理する場合は、ご自分で処理施設に運ぶか、札幌市環境事業公社（☎219-5353）に依頼してください（いずれも有料）。処理施設の連絡先や料金については環境局施設管理課（☎211-2922）へお問い合わせください。

ただし、大型ごみだけを分別して排出するときは戸別有料収集しますので、大型ごみ収集センター（☎281-8153）へ事前にお申し込みください。



ごみの減量を目指す「さっぽろごみプラン21」の改定に向けて



札幌市廃棄物減量等推進審議会は、北市民センターで二月十日、ごみに関する市民意見交換会を開催しました。七人の審議会委員が耳を傾ける中、参加者は、ごみの資源化、分別・収集、ごみ減量を進めるための情報、家庭ごみの有料化などについて六グループに分かれて熱心に話し合いました。「もったいない」を心掛けて分別を進めよう」「まずは自分の周りからごみを減らそう」などの意見が出されました。

★ごみ？それともリサイクル！★

皆さんが使わなくなった家具などの大型ごみで、まだ使用できるものは、近隣の方やお友だち、親せきなど必要とされる方にお譲りするなど活用してください。

リサイクル収集をご希望の方は、大型ごみ収集センター申し込み時に「リサイクルで」とお申し出ください。処理手数料は大型ごみと同額です。

ごみ出しの手掛かりになるパンフレット「ひと目でわかるごみ分けガイド」「ごみの分け方・出し方」などは区役所広聴係や北清掃事務所で配布しています。札幌市清掃ホームページ（<http://www.city.sapporo.jp/seiso/index.html>）でもごみの分け方・出し方などを掲載しています。家庭から出るごみの収集などについては、お気軽に同清掃事務所☎（772-5353）へ平日の午前8時～午後4時30分にお問い合わせください。